

特集

テスト Trial

「スタッドレスタイヤの そこが知りたい！」

■テストドナー
NANKANG
CORSAFA ESSN-1

サイズ：215/50R17 91Q
購入価格：8280円（1本）

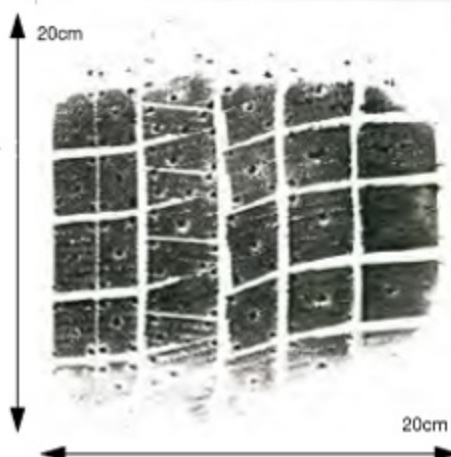
国産に比べて半以下の価格で、ネット通販で購入できる台湾製スタッドレスタイヤの、ナンカンESSN-1。見た目には、なかなかカッコいいデザインだ。



スタッドレスタイヤの素朴な疑問 その①

気になる通販サイトのアジア製
激安スタッドレスタイヤの実力は？

国産スタッドレスと比べると、半以下の価格で買えるアジア製の激安スタッドレスタイヤ。実際に通販サイトで購入してテストしてみた。



■フットプリント

実際の路面の接地面形状（フットプリント）を取った。上が前進方向で、左がアウト側、右がイン側。トレッド面が柔らかいため、本来真っ直ぐなはずの溝がよれているのが分かる。

✓見た目チェック

非対称パターン採用
デザインは悪くない

今回テストした激安スタッドレスタイヤは、通販サイトで購入した台湾製の輸入品。何と価格はレガシイ用の215/50R17サイズで、1本8280円。国産の半以下。下手をすると1/3近い価格だ。

街中ユース派には、気になるタイヤではないだろうか。そこで、雪のない冬の街中で使うことを想定したテストを行ってみた。

まずは見た目のチェック。タイヤにインとアウトの指定がある、最近流行りの非対称パターンを採用。ただし左右の指定はない。見た目の第一印象は、スクエアショルダーの力強いデザインで、全体の雰囲気も悪くない。型からの剥離剤なのか、全体に白く汚れた感じだが、これも落せば問題なし。立体サイブを採用しており、剛性面も考えているようだ。また、タイヤ表面に細かな方眼のスリットが入っている。これは、装着初期の水上グリッパ効果を狙ったものだろう。

✓装着チェック

バランスは許容範囲内
重量のバラつきが気になる

タイヤ装着は、黄色い看板でお馴染の大手カー用品量販店で行った。実に手際よく気持ちのよいサービスが印象



溝の深さは9mm。標準的な深さが確保されている。



サイブの内側を見ると、一応立体構造にはなっている。ただ、効果のほどは疑問だ。

的だった。装着してくれたスタッフの話だと、このタイヤは価格が安い分性能も相応で、店で販売するにはちょっと厳しいので置いてはいないという。実際、PBブランドで置いているお買い得な低価格スタッドレスの方がいいで

冬の道に必需品のスタッドレスタイヤ。でも、1台分買おうとそこそこのお値段になるので、頻りに新品に換えるのは厳しいのも現実。特に非降雪地域に住んでいる人は、結構悩みの種。そこで誰もが気になる、スタッドレスタイヤの素朴な疑問「激安スタッドレスはどうなの？」1年経ったスタッドレスって大丈夫？を徹底検証。さらにスタッドレスのあれこれ話をプラスしたので、是非購入の参考にしよう。